

## 里山利用総合支援事業（平成25年度実施）

### 1 事業目的

飯山市秋津地区の里山では、平成20年度から森林税を活用した里山の間伐が進んでおり、森林の公益的機能が維持・向上するなど、地区住民の皆様の暮らしの安全・安心に寄与しています。

一方、これまでに実施した間伐は「切捨間伐」であり、林内に放置された伐採木の活用が進んでいないこと、山を良く知る森林所有者の高齢化が進行している等の問題があり、このままでは持続的な森林づくりや林業の活性化につながらないおそれがあります。

今回の事業により、地域の皆様が里山で行う森林づくり、木材利用、地域づくりの活動を支援することで、里山を地域の貴重な資源として活用し、里山と人とのかかわり、「絆」を再構築して、持続的な森林づくりにつなげていくことを目的とします。

### 2 事業主体

飯山市 秋津区長会

### 3 事業費（括弧内は補助金額）

301,184 円（300,000 円）

### 4 事業内容

#### (1) 森林づくり

- ◆ 秋津農村公園に近接する農地において、野生鳥獣被害が深刻な問題となっているため、区民や子ども達の参加により、公園に隣接する森林について、間伐作業（緩衝帯整備）を実施。
- ◆ 伐採作業の留意事項や、上記作業のために購入した機材の取扱い等に関する講座を開催。

#### (2) 里山資源の活用

- ◆ 上記間伐作業やその他私有林の間伐作業で発生した間伐材を材料に、同公園内にある炭窯を利用して、小学生の授業、夏休み体験教室、クラブ活動等で炭焼きや鳥の巣箱づくりを実施。

#### (3) 地域づくり

- ◆ 炭焼きで製作した木炭や木酢液を、飯山市の「花フェスタ」において、子ども達自らが販売し、販売の収益で購入した本を「炭焼き文庫」として学校に寄贈。
- ◆ 当該事業の成果を、全ての区民に周知し、来年度以降により多くの区民に里山利用の取組に参加していただくため、チラシを作成して全戸回覧。

### 5 事業効果

- ◆ 当該事業で実施した身近の里山の間伐作業や、間伐材利用の取組を通して、区民が地区周辺の里山の利用に関心を持ち始めるきっかけとなり、少しずつではありますが区民や児童の保護者等が作業に参加するようになりました。
- ◆ 当該事業の取組が、「長野の林業」の表紙や、地元紙に取り上げられ、広く県民に対して当該事業による取組や森林税についてPRすることができました。

### 【事業の実施状況】



区長会での事業説明



伐採作業や機器取扱いの講習会の開催



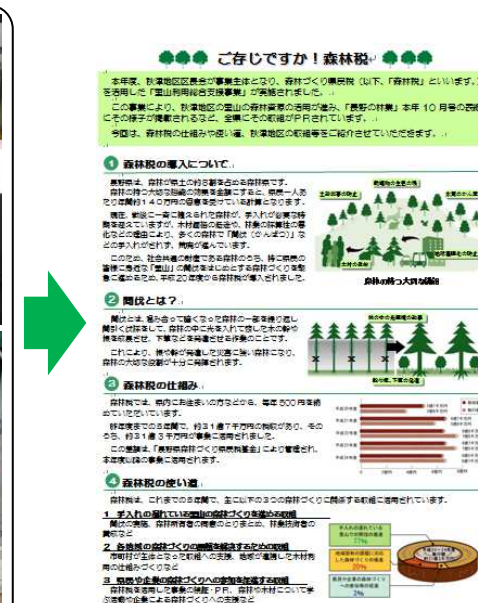
間伐（緩衝帯整備）の実施



炭焼きの実施



イベントでの販売・PR



森林税や事業成果の全戸回覧チラシ

